

平成31年度

# みずほ保育園の御案内



塩尻市立みずほ保育園

〒399-0715 塩尻市長畝 260

TEL・FAX 0263-54-0103

[mizuhoho@city.shiojiri.lg.jp](mailto:mizuhoho@city.shiojiri.lg.jp)

# 目 次

1	保育園の概要	P 1 ～ 2
2	保育目標と保育の中で大切にしていること	P 3 ～ 4
3	保育園の 1 日	P 5 ～ 6
	(1) 3 歳以上児のお子さんの主な日課	
	(2) 0, 1, 2 歳児のお子さんの主な日課	
4	一年間の主な行事とあそび	P 7 ～ 9
	(1) 月別の主な行事とあそび	
	(2) 定期的に行われる行事	
	(3) 保育園で行う健康チェック	
5	入園にあたりお願いしたいこと	P 1 0 ～ 1 1
	(1) 子どもの生活	
	(2) 病気と与薬	
	(3) 服装	
	(4) その他	
6	入園までに準備するもの	P 1 2 ～ 1 4
	(1) 3 歳以上児 (すずめ・ひばり・つばめ組)	
	(2) 3 歳未満児 (あひる・ひよこ組)	
7	資料	
	「くすりの連絡票」「登園許可証明書」「園児がかかりやすい病気・感染症」	

## 1 みずほ保育園の概要

- (1) 施設の名称 塩尻市立みずほ保育園
- (2) 所在地 〒399-0715 長野県塩尻市長畝 260
- (3) 連絡 電話・Fax (0263) 54-0103  
Eメールアドレス [mizuhoho@city.shiojiri.lg.jp](mailto:mizuhoho@city.shiojiri.lg.jp)
- (4) 建物・施設概要  
敷地面積 2404㎡  
建設面積 806㎡
- (5) 施設内容  
保育室7室 リズム室 給食室 事務室(兼医務室)  
園児用トイレ3ヶ所 大人用トイレ2ヶ所
- (6) 職員構成 (平成30年度)  
園長(1) 園長代理(1) 保育士(12) 看護師(1)  
長時間保育士(6) 保育補助員(1)
- (7) 園児数〈平成30年度参考〉 定員95名 H30・11月現在

クラス名	年齢	園児数	クラス名	年齢	園児数
ひよこ組	0・1	11	ひばり組	4	21
あひる組	2	11	つばめ組	5	17
すずめ組	3	10			合計70名

### (8) 特別保育事業

#### ① 郷土文化伝承活動事業

当園では、昭和55年より園児・保護者・地域の皆さんが一体となって「みずほまつり」が行なわれてきました。平成6年からは、地域に古くから伝わる文化や芸能を学び、保育園で見て実践することにより、仲間意識の向上や地域の人々との連携を図る事を目的とした「地域文化伝承事業指定園」となりました。塩尻の夏を彩る「阿禮神社例大祭」の姿を「みずほまつり」の中に取り入れる中で地域文化に興味を持ち郷土愛を育み、地域の多くの方々と交流する貴重な場となっています。

また、「みずほまつり」を楽しむ中で年齢の枠を越えて仲間意識を高め、仲間と一緒にやり遂げる喜びや楽しさ、大切さを体験しています。

② あそびの広場・「ひがしっこ広場」

塩尻東保育園・塩尻東児童館と合同で、地域の未就園児とお母さんを対象に、年8回程度開催します。園児との遊びや育児講座、遊びの提供、お母さん同士の交流や情報交換、育児相談などをおこないます。

③ 交流事業

地域での異年齢の関わりが少なくなっている現在、保育園以外の友達や家族以外と触れ合うことは大変貴重な体験だと考えています。

当園では、お祭りを通して地域の祭典部の皆さんと交流をしていますが、その他にも近くにある塩尻東小学校や、塩尻中学校と小中学生をはじめ、地域のお年寄り、グループホームの皆さんといろいろな交流をしています。

④ 長時間保育（保育園のしおり参照）

みずほ保育園の保育時間 朝7時30分～夕方6時30分まで

- ・標準時間（11時間）利用
- ・短時間（8時間）利用
- ・短時間利用＋長時間保育

の3通りの利用方法になります。

**長時間保育は、朝7：30～8：30**

**夕方16：30～18：30になります。**

※緊急長時間保育・契約してないご家庭でも保護者の急な用事や仕事等の為に緊急時に長時間保育を利用できます。30分単位の料金になります。

⑤ 子育て相談

保育園に就園しているご家庭だけでなく、どなたでも気軽にご相談いただける場として、地域の子育てのために保育園がお役に立てればと願っています。

お話することで、解決の糸口が見えてくるものです。

お子さんについて、どんなささいなことでもお話してください。秘密は厳守します。また、内容によっては専門家への橋渡しも行います。



## 2 保育目標と保育の中で大切にしていること

乳幼児期は、人間形成の上でとても大切な時期です。保育園では一人ひとりの子どもの状態を把握し、より良い環境の下で自己を十分に発揮できるように、発達に応じた活動の積み重ねを大切にしています。集団という社会生活の中で、友達や保育士とのかわり、愛され尊重され、相互に助け合い、心身共に健やかな成長ができるようにと考えています。

郷土を愛し、未来を生き抜く子ども達が、自らの力で、それぞれの個性に合わせて、楽しく豊かな実りの多い人生を生きていくための基礎を培う事が私たちの願いです。

### <保育目標>

#### 丈夫な体と豊かな心をもつ子ども

##### 1 健康で明るい子ども

生活環境の変化により、子どもも歩くことや体を動かすことが少なくなっています。体づくりの第一歩は、まず身体を動かすことからです。戸外で積極的に遊んだり、自然に触れていきます。また、生きていくために必要なこと、食べる・着る・排泄・清潔・寝る・身を守るなどの自立に向け、園生活の中でも学んでいきます。元気に遊び、しっかり食べて病気に負けない、バランスの良い発達をめざします。

##### 2 意欲的に行動する子ども

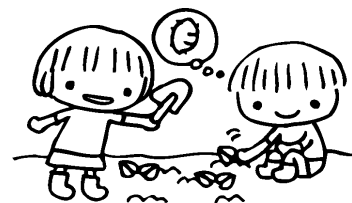
様々な実体験を通して子どもは学んでいきます。「やってみよう」という気持ちで、できた喜びや達成感・自信が次のやる気や挑戦することへつながります。

##### 3 思いやりと協調性のある子ども

保育園での様々な人や動植物への関わりを通して、自己を大切にすること、他を受け入れ思いやる事、協力する事など人との関わり方の基礎を学びます。また、小中学生やお年寄り、地域の方などの多様な交流から、優しさに触れ、大きくなる事への憧れを持ちます。入園前の小さいお友達との交流も大切にしています。

##### 4 自分の気持ちや考えをもち、豊かに表現する子ども

挨拶をはじめとし、自分の言いたいこと（気持ちや考え）が言えたり、感じたことや考えたこと、想像や経験等を、様々な形や方法で表現できるようにします。また、いろいろに表現し、感性豊かな子どもになることをめざします。



## <保育園で大切にしていること>

### 楽しい保育園

子どもたちにとって心地よい場所・好きな遊びが十分できる環境・気持ちを受け止めてくれる人が大切です。担任はもとより、園の職員がみんなで気持ちに応じていくようにします。子どもたちは心を開き情緒が安定してくると遊びや友達に目が向くようになり、保育園が楽しいものになります。



### 良い生活習慣

- \*自分のことは自分でしよう（手洗い・手拭き・トイレの始末・持ち物の整理整頓・着脱）
- \*成長発達に欠かせない食育  
（楽しい雰囲気・食事のマナー・姿勢・箸・食器の持ち方など）

### 生活の中で基本的なこと

挨拶（おはよう、こんにちは、さようなら）・場に応じたことば（ありがとうごめんなさい、～してください）等の使い方を学び、人とのコミュニケーションを図っていけるようにしていきます。

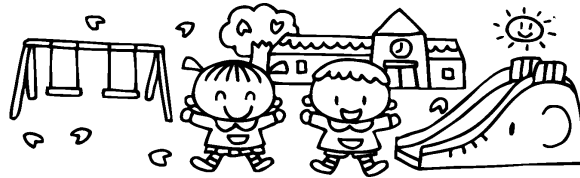
### 子どもと遊び

- \*遊びを通し、**集中力・人との関わり方・丈夫な体・想像力・創造力**を養います。  
いろいろな体験を継続的に行える環境（物・人・自然・空間）を整え、活動の願いに合わせた保育の方法（自由遊び・クラス・同年齢・異年齢・全体）を取り入れながら子ども達が自発的にそして、主体的に活動できるように援助していきます。
- \*外遊びは全身発達を促し丈夫な体づくりにつながります。
- \*自然との関わりや直接体験を通し、命の大切さ、自然を大切にする心、気づきや感動など心の育ちにつながります。  
（畑の活動）・・・畑をお借りし、各学年で決めた作物を育てます。  
収穫したものは給食でおいしく食べます。  
（散歩）・・・園周辺の散歩や、秋になると遠くまで出かけ様々な自然に触れたり様々な遊びを展開します。

### 個別支援保育ハッスルレンジャー

市内公立保育園では、子どもの成長発達を促すために「個別支援保育」を実施しています。みずほ保育園では「ハッスルレンジャー」という名称で年長児（つばめ組）を中心に行なっています。一人ひとりの子どもが持っている得意なこと、苦手な事を確認し、少人数グループの中で必要な援助をしていきます。身体全体の発達のバランスを整えたり、社会性を身に付けるためのプログラムメニューを作成し、達成感や自信が持てるように援助しながら進めていきます。

### 3 保育園の1日



#### (1) 3歳以上のお子さんの主な日課

時 間	子どもの活動
7 : 3 0	朝の長時間保育 随時登園 (異年齢 混合保育)
8 : 3 0	登園 (あいさつ 持ち物の始末 遊びの準備)
9 : 0 0	遊び (保育の計画により、いろいろな環境で思い切り遊んだり クラスや他の年齢の友達との遊び・活動)
1 0 : 5 0	片付け (遊んだものをみんなで片付け) 昼食準備
1 1 : 1 5	昼食 (くつろいだ雰囲気友達と食事) 食後の片付け (食器・お弁当は自分で片付け) 静かな遊び (絵本・ブロック・ままごと等)
1 2 : 2 0	お昼寝準備 (トイレ 上着や靴下を脱ぐ) お昼寝 (絵本を読んでもらったり、お話を聴いて眠る)
1 2 : 4 0	
1 4 : 3 0	めざめ (布団をたたんで片付け 身支度を整える トイレ)
1 4 : 4 5	クラスで決められた場所のお掃除：後半より (つばめ、ひばり組)
1 5 : 0 0	おやつ (手作りおやつを楽しく食べる) 遊び (絵本・ブロック・ままごと・クラスみんなでの遊び)
1 5 : 4 5	帰りの集まり (絵本 紙芝居 手遊び 歌 明日への期待を持つ)
16 : 00～	
16 : 30	順次 降園
1 8 : 3 0	夕方の長時間保育 (異年齢 混合保育) 戸外遊び 室内あそび 長時間保育児 順次降園 保育終了



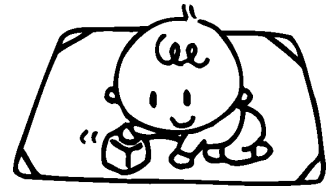
※ 年齢クラスにより多少の時差があります。

※ お昼寝期間・・・つばめ組 10月まで (子どもの様子に応じて)

ひばり組以下は通年実施します。

どうしても眠れない子は絵本を読んだり、静かな遊びをする場合があります。





(2) 0・1・2歳のお子さんの主な日課

時 間	子 ども の 活 動
7 : 3 0	朝の長時間保育 随時登園 (異年齢 混合保育)
8 : 3 0	登園 (あいさつ 持ち物の始末 遊びの準備) 遊び (保育の計画により、いろいろなおもちゃなどで遊ぶ)
9 : 0 0	片付け (遊んだおもちゃなどの片付け) おやつ準備 (手洗い・エプロンをかける)
9 : 1 5	おやつ (軽いおやつ)
9 : 3 0	トイレ・オムツ替え
9 : 4 0	遊び (好きな遊び 散歩 保育士や友達との遊び)
1 0 : 4 5	片付け (遊んだものを自分で片付け) トイレ・オムツ替え
1 1 : 0 0	昼食準備 (手洗いエプロンをかける) 昼食 (楽しい雰囲気の中で食事) 食後の片付け (2歳児：食器はできるだけ自分で片付け)
1 2 : 1 0	お昼寝準備 (トイレ・オムツ 上着・靴下を脱ぐ 汚れた服の着替え)
1 2 : 3 0	お昼寝 (絵本を読んでもらったり、お話を聴いて眠る)
1 4 : 3 0	めざめ トイレ・オムツ替え
1 5 : 0 0	おやつ準備 (手洗い エプロンをかける) おやつ (手作りおやつを楽しく食べる) 遊び (好きな遊び)
1 5 : 4 5	2歳：帰りの集まり (絵本 紙芝居 手遊び 歌 etc)
1 6 : 0 0	順次 さようなら
～16 : 30	夕方の長時間保育 室内あそび 長時間保育児 順次降園
1 8 : 3 0	保育終了



※ 年齢クラスにより多少の時差があります。

お昼寝期間・・・通年

※ オムツ替え・トイレの時間は目安です。一人ひとりの様子を見ながら行います。



## 4 一年間の主な行事とあそび

### (1) 月別の主な行事とあそび



#### 4 月

入園式	ワクワクドキドキ。入園おめでとう！
歓迎会	進級したお友達と仲良しになる会です。
入園おめでとうの会	新入のお友達のために、年長つばめ組が準備します。

- ◆ 新しい環境に早く慣れ、お友だちになれるよう、好きな遊びを多くします。

#### 5 月



家庭訪問	お子さんについて、担任とお家の方とでお子さんの保育についてじっくりお話しします。
春の遠足	春の自然に触れて遊びます。交通ルールも覚えながら歩きます。
保育参観	入園・進級して初めての参観です。
5月末～6月	お子さんの保育園での生活の様子を半日ご覧いただきます。

- ◆ お友だちや先生にも大分慣れ、遊びが活動的になってきます。  
散歩での自然物を使った遊び、園庭での遊具や道具での遊びが広がります。

#### 6 月

プール開き	年齢発達に合わせた大きさのプールや水量で、水の中で遊ぶ楽しさを8月末まで味わいます。
元気っ子相談 (前期)	ひばり組親子で参加。集団の中でのお子さんの成長を確認しあいます。

- ◆ 草花・水・土など自然物を使った遊びが本格的になります。  
梅雨時の事象に興味をもったり、友だちとの遊びも活発になります。

#### 7 月

水遊び 泥んこ遊び	幼児期だからこそ、夏は思い切り水や砂・泥、その他色々な素材の感触を体全体で体験し、感動や発見をします。
--------------	---

#### 8 月

夏の遊び・プールのまとめの会	夏の遊びをしめくくります。
----------------	---------------

- ◆ プール遊びがどんどん楽しくなる時期です。
- ◆ 様々な夏の遊びを発展させながら、イメージを共有しながらクラスや園全体の友だちと楽しみます。



## 9 月



運動会	当日は地域の方々やお家の皆さんも、一緒に楽しんでいただきます。運動会で、身体を思い切り動かす楽しさを味わいます。
-----	--

◆様々な運動遊びで全身を動かす楽しさを知り、新たな遊びの発見につなげます。

## 10 月

秋の遠足	鍛えた足で少し遠出をします。秋を感じとります。
みずほ祭り (土曜参観)	阿禮神社例大祭の体験や地域の祭典部の方々との交流を基に、自分達のお祭り「みずほ祭り」を行ないます。保育園にある舞台を飾りつけ阿禮神社まで曳いて行き、舞や太鼓の披露やお店屋さんごっこを行ないます。園児、保護者、地域の皆さんが一体となって繰り広げるみずほ保育園ならではの行事です。
元気っ子相談 (後期)	ひばり組親子で参加。集団のなかでのお子さんの成長を確認します。

◆秋の自然に触れたり、遊びに取り入れたり、全身を使った遊びを楽しみます。

## 11 月

人形劇鑑賞	毎年プロの劇団を招きます。子どもたちの表現の幅も広がります。
祖父母参観	祖父母の皆さんに参観していただき、触れ合って遊びます。

◆ 暖かい日はできるだけ戸外で遊びます。大勢の友だちとの遊びが楽しい時期です。  
大きい子や小さい子、いろいろな友だちとたくさん遊びます。



## 12 月

クリスマス会	楽しむだけでなく、サンタさんの優しい気持ち、子どもたちの夢を大切にしていきます。
--------	--

## 1 月

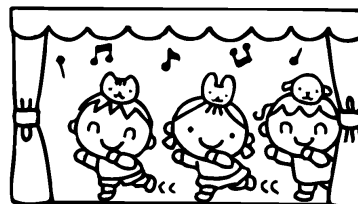
お正月遊び	カルタ・こま・トランプ・はねつき・パズルなど昔からの遊びや友だちとのやりとりが楽しい遊びを経験します。
保育参観	最後の参観日です。お子さんの成長を観ていただきます。
表現遊び	今までの経験をもとに、色々な形で表現遊びをします。 劇遊びや歌、描くなど総まとめの活動でもあります。

◆ 雪が降った時は、雪遊びや氷での遊びも楽しめます。

## 2 月

一日入園 入園説明会	4月から新入園のお子さんと保護者のための体験入園です。 お子さんは遊びながら保育園の雰囲気に触れます。
---------------	--

◆室内での様々なごっこ遊びが盛んになります。



## 3 月

<b>お別れ会</b>	ひばり組が中心となり準備します。1年を振り返って、一人ひとり成長したことを喜び合いつばめ組へ感謝をする日です。
<b>卒園式</b>	保育園生活の思い出を振り返りながら、つばめ組とお別れをします。

◆暖かい日には戸外で遊んだり、春を探しに出かけます。

※この他に地域のお年寄りや小学生、中学生との交流もあります。



### (2) 定期的に行われる行事

<b>誕生日会</b>	毎月、誕生日のお子さんを皆でお祝いします。 命の誕生や、大切さ、家族とのつながりについて子ども達に伝えていきます。誕生児にはプレゼントがあります。この日は、普段の給食とは違い、子どもたちの好きな特別メニューとなります。
<b>安全指導</b>	<p>*避難訓練（毎月1回） 不審者訓練も行ないます</p> <p>*交通安全教室（年2回）年長は就学前にもう1回実施します。</p> <p>定期的に学習し、事故や災害から身を守ったり、有事に備えて安全な場所に避難することなど繰り返しの中から覚えます。</p> <p>避難訓練は、火災と地震の両方を行い、 火の怖さや災害の恐ろしさも 折に触れ知らせていきます。</p>



### (3) 保育園で行う健康チェック

<b>身体測定</b>	毎月定期的に行っています。身長と体重を測りますが、4・10月は胸囲も加わります。お子さんの成長は出席ノートに記録します。
<b>健康診断 歯科検診</b>	両健診とも年2回（年長児は就学前検診含め）、嘱託医の先生に診ていただきます。※ひよこ組のお子さんは歯科検診はありません。 早期発見・早期治療に努めましょう。 ※保育園では食後の歯磨きを励行しています。 小さいクラスは保育園に慣れた頃より歯磨き開始です。
<b>尿検査</b>	検査日や提出日が指定されます。（年1回実施）
<b>視力検査</b>	図や言葉の理解が確実になるひばり組になったら行います。おかしいなどと思われるお子さんは、専門医の受診をお勧めしています。

※ その他 毎朝登園の際、お子さんの体調や機嫌を見ます。朝元気でも、お子さんの体調は刻々と変化します。体調の変化があった時はご連絡させていただきます。

☆6月頃から保育ママ、パパを行っています。お子さんのクラスに半日 保育のお手伝いに入っただき、お子さんや周りの子ども達の様子をみていただきます。参観日には見られない姿を見られると好評です。

## 5 入園にあたりお願いしたいこと

### (1) 子どもの生活

少しずつ生活のリズムを整えましょう

9:00までに登園するには

遅くても 6:30頃 起床 顔を洗う 自分で着替え

7:30頃 朝食

トイレで大便をすませる

歯磨き

自分で登園の準備



大便をしてこなくて腹痛や給食が食べられない子も・・・

園から帰ったら

夕食 入浴

自分で体を洗ったり拭いたりできるかな

自分で着替え

9:00頃までには布団に入る

絵本を読んでもらう

就寝

テレビやゲームは消して静かな時間を過ごしましょう。

お子さんの望ましい発達には、成長ホルモンが働く午後10時から午前2時には十分な睡眠をとる必要があります。

※食事・睡眠・排泄・清潔・衣類の着脱などの基本的な生活習慣は、幼児が心身ともに健康で育つ基本です。その基本的な生活習慣を身に付けることは、自分のことが自分でできるという自立心を育て、自信と意欲を持って生活するためには欠かせないことです。特に幼児期は、その日の気分でやりたくなかったり、時間がかかったり、時には失敗することもあります。そういう時は子どもがやろうとする気持ちを大切に、温かく見守ってあげましょう。そうすることで次第に自立へと向かっていきます。

### (2) 病気と与薬

#### ① 保育園で具合が悪くなったら

発熱・下痢・嘔吐・ぐったりしている・咳込む・腹痛・頭痛・目やにがでる・四肢の痛み・感染症が疑われるなど具合の悪い度合いにより、家や仕事先へお子さんの対処のことで連絡を入れます。できるだけ早めにお迎えに来られるようご協力をお願いいたします。

☆緊急な外科的な怪我の場合は保護者の方に連絡を入れ、医師の診察を受けます。

#### ② 感染症にかかったら

集団の中で発生しますと隔離することができないため、大勢に感染するおそれがあります。かかってしまった時は、「登園許可書」に医師からのサインをもらい登園できるようになります。(別紙参照)

インフルエンザのみ、「治癒報告書」の提出になります。用紙は園にあります。

#### ③ 薬について

保育士は医師や看護師ではないので医師法により与薬はできないことになっていますが、

やむを得ず保育時間帯に与えなければならない場合、医師が処方した薬のみ、「くすりの連絡票」（別紙参照）と共に担任に直接手渡してください。

（市販の薬はお預かりできません）

医師から薬をもらう時、保育中でなく朝夕などで可能かあらかじめお聞きください。継続的に服用が必要な場合「投薬指示書」を提出していただきます。

#### ④ 休める勤務体制や見ていただける環境づくりを！

\*仕事を何日も休めないので、具合の悪いお子さんを家族の皆さん交代で看られる協力体制が大切です。

\*ファミリーサポート・桔梗が原病院併設のキッズステーションも利用できます。

（詳しくは、こども課「保育園のしおり」参照）

### （3）服装

\*薄着の習慣を心がけ、活動しやすく、汚れても良い服装でお願いします。

\*子どもが自分で着脱できるように、大きさやゆるみ等、配慮をお願いします。

\*ジャンパーなど、襟の内側にフック等に掛けられる紐（ち）をつけてください。

\*衣服すべてに記名をお願いします。小さなお子さんは、子どもにわかる目印も併せて付けるとわかりやすいかと思えます。

\*毎日の通園には安全のために帽子の着用をお願いします。（UVカラー帽子等）

### （4）その他

#### ① 通園について

\***登園**は Am 9：00 までをお願いします。

\***降園**は Pm 4：00～4：30

駐車場、周辺道路の混雑を避けるよう、お迎えの時間に幅を持たせていただいています。歩道も親子で手をつなぎ飛び出し事故にご注意ください。

駐車場内での事故も十分気をつけましょう。

\***欠席・遅刻**は 朝 9：00 までに連絡をお願いします。

\*お迎えが間に合わない場合も電話連絡をお願いします。

緊急長時間保育を行います。

\*保護者の方が責任をもって送迎をお願いします。お迎えの際に、いつもと違う方がみえる場合は、園の方にご連絡をしていただくようお願いいたします。



#### ② 駐車場

入園式の時に、保護者会より申し合わせ事項として詳しく連絡がありますが、駐車場は正面玄関前と園庭東側の2ヶ所あります。玄関前の駐車場は北側正面玄関前の方から入場して滑り台等がある東側出口から右折して退場してください。

#### ③ 一番大好きはお母さん！お父さん！

保育園という集団は子どもたちの社会性に大きく影響します。集団の中で人として必要な多くの事を学びます。しかし、生活のベース（よりどころ）は家庭です。

一番安心できる場所です。保護者と一緒にいる時こそ一番安心できる時間です。

一緒にいる時間が短くなった分、短い時間のなかでお子さんをしっかり愛してあげてください。「○○ちゃんのこと大好き！」と声をかけてください。そうすることで子どもたちは、園でもがんばる力がつきます。

## 6 入園までに準備するもの

### (1) 3歳以上児 (すずめ・ひばり・つばめ組)



#### 毎日持ってくるもの

- 通園カバン・・・自分で開け閉めできるもの。  
リュック型のもは、遠足の時にも使えるので便利です。
- 弁当・・・ご飯を入れて持ってきます。  
冬は保温するのでアルミニウム製のものが良いです。  
弁当が開かないように幅広のゴムバンドで止めてください。
- 箸・・・子どもの手に合ったもの (手の長さ+2cm)  
できれば竹製のすべらない素材のもの
- 箸箱・・・自分で開け閉めできるもの
- 弁当袋・・・弁当と箸箱を入れます。
- 手拭きタオル・・・掛ける紐をつけてください。(ゴムは不適當です)  
毎日、持ち帰りますので洗い替えをご用意ください。
- 歯ブラシ、コップ・・・毎日持ち帰ります。  
水を飲んだりうがいをしたり歯磨きに使います。  
歯ブラシのキャップはいりません。
- 歯ブラシ、コップを入れる袋・・・コップ、歯ブラシを入れるので袋の口が大きく開くものが使いやすいです。
- 出席ノート・・・園で用意します。家庭と保育園相互で連絡事項を書いたり、園からの配布物をはさんだりします。  
保育園からの連絡事項をご覧いただきましたらサイン等を記入してください。
- UVカラー帽子・・・紫外線対策として日よけ帽子を使用しています。  
通園用としても使います。



H31 つばめ組(水色)ひばり組(赤)すずめ組(オレンジ) あひる組(緑)

#### 園に置いて使用するもの

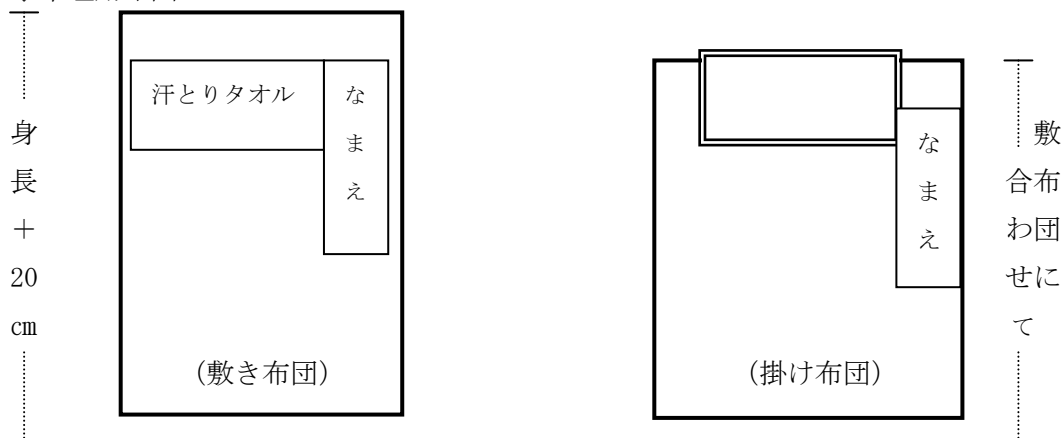
- 上履き・・・子どもの足にあったもので履いたり脱いだりしやすいもの  
(記名や印) 夏期は裸足保育のためサンダルを使用します。
- BOXティッシュ・・・1箱
- 着替え袋・・・着替え一式が入る大きさのもの  
上着・ズボン・下着類・靴下など各2枚入れてください。  
(すべての物に記名) 汚れ物を入れるビニール袋5枚(記名)



□お昼寝用布団・・・

- ・布団は子どもが持ち運びのできる大きさや重さにしてください。
- ・見やすい位置に名前と目印を必ず付けてください。
- ・布団の上下がわかるように汗取りタオルを両方に付けます。
- ・汗等で汚れます。毎金曜日に持ち帰り月曜日に清潔な状態で持ってきてください。
- ・夏場はタオルケット、冬場は毛布と布団を使います。  
(その時に連絡します。)

◇午睡用布団



汗とり用タオルを敷・掛け両方の布団に付ける

□布団袋・・・持ち運びに使用します。

**その他の必要なもの** ※必要な時期になったら園便りで詳しくお知らせします。

□水筒 おしぼり シート・・・水分補給の為、遠足や散歩に使用します。

□水あそび用品・・・プール用水泳パンツ、水泳帽子（年齢によって色指定）  
バスタオル、バックなど 泥んこ遊び用パンツ、Tシャツ  
泥遊び用靴

□雪遊び用品・・・ジャンパー オーバーズボン 帽子 手袋 ブーツ等

□絵本袋・・・絵本の貸し出しをしています。肩から掛ける布袋を用意してください。  
詳細は園便りでお知らせします。

(2) 3歳未満児 (あひる・ひよこ組)

**毎日持ってくる物**

□食事用エプロン・・・子供用フェイスタオル（縦約30cm×横30cm位）の片側にゴムを通して、お子さんの首に掛けられるようにしてください。

1日、3枚お願いします。

毎日、持ち帰りますので洗い替えを用意してください。

□口拭きタオル・・・手や口を拭きます。

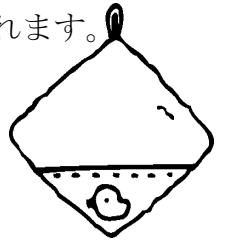
ガーゼ素材などの柔らかいものが使いやすいです。

1日、3枚お願いします。

毎日、持ち帰りますので洗い替えを用意してください。

□巾着式ビニール袋またはジップロック・・・1枚、使用したタオル等を入れます。

定期的に変換して頂けるとありがたいです。



□コップまたはマグカップ・・・布製の袋に入れてください。

□手拭タオル・・・タオルにかけひもを付けてください。

□おたより帳・連絡ノート・・・園で用意します。連絡ノートは家庭での様子、園の様子など連絡を取り合ったり、園からの配布物をはさんだりします。連絡事項などをご覧になったらサイン等をしてください。

ひよこ組は幅広のゴムバンドを用意してください。

□通園カバン（あひる組）

- ・未満児は完全給食ですので弁当・弁当袋はいりません。
- ・箸や箸箱、歯ブラシについては、様子を見て担任から連絡します。当初は必要ありません。
- ・ひよこ組は、自分で背負う通園カバンはいりません。

#### 園において使用するもの・その他

□オムツバケツ・・・ふた付きのもの（容量5ℓ位）ふた・バケツ両方に記名バケツの中にビニール袋を入れて使用済みオムツを入れます。

（匂い消しに石鹼を1つ入れてください。）

使用済みのオムツは毎日、持ち帰ります。

使用済みのオムツを持ち帰る際には、新しいビニール袋をセットしてください。



小さめ

□オムツ・・・紙、布どちらでも可です。紙おむつはお尻側に記名をしてください。オムツは少なくなったら補充をお願いします。登園時のオムツにも記名をして下さい。

□お尻拭き・・・ハードケースはいりません。

□オムツ替え用のバスタオル・・・オムツを替えたりパンツをはく時に使います。バスタオルの半分程度の大きさが良いかと思えます。毎日持ち帰ります。

□上拭き・着替え・着替え袋（あひる組）BOXティッシュ・お昼寝用布団

その他の必要なものは3歳以上児と同じです。

■UVカラー帽子はあひる組のみです。ひよこ組の帽子は自由な型のもので良いですがあごにゴムをかけられるものをご用意下さい。

■ひよこ組は着替え袋は必要ありません。

持ち物すべてに、はっきり記名してください。

消えにくいよう、油性ペンまたは縫い取りをお願いします。消えることもあるので時々見直して下さい。特に3歳児は名前だけではなく、本人に分かるような印があると分かりやすいです。



平成 年 月 日

# くすりの連絡票

保育園長 様

保護者氏名

印

私は都合により保育園にいて薬を与えることができないので、私に代わって次のとおり薬を与えてください。

児 童 氏 名		組		保護者 TEL	
主治医	氏 名 ( 病院 ・ 医院 )			TEL	
病 名 (または症状)					
持 参 し た 薬	処 方	平成 年 月 日に処方された 日分のうちの本日分			
	保 管	室温 ・ 冷蔵庫 ・ その他( )			
	剤 型	粉 ・ 錠剤 ・ 液(シロップ) ・ 外用薬 ・ その他( )			
	内 容	抗生物質 ・ 咳止め ・ かぜ薬 ・ かゆみ止め その他( )			
	時使 間用	食前 ・ 食後 ・ 食間 その他具体的に ( )			
	外用薬の使用方法				
	その他の注意事項(医師からの指示・副作用等) ( )				
	投薬説明書 ・ ぬり薬指示書 / あり ・ なし				

- ※ 正確にご記入の上、「一日分の薬」とともに職員に渡してください。  
(シロップは一回分を容器に入れてください。)
- ※ 保育園で判断を必要とする薬はお預かりできません。
- ※ 薬の袋・容器には、児童の氏名をはっきりとご記入ください。
- ※ ご記入された内容を再度ご確認ください。

保 育 園 記 載 欄	受領者 サイン					与薬状況など
	与 薬 時 間	月 日 午前 ・ 午後 時 分				
	与薬者 サイン					

平成28年8月 改訂

# 登園許可証明書

園児氏名

---

次の疾患で平成 年 月 日から療養中でしたが、他児への感染のおそれはないと思われますので、平成 年 月 日から登園してよいことを証明します。

次の疾患から該当するものを ○で囲んでください。

## 〈第二種伝染病〉

- 麻疹
- 流行性耳下腺炎
- 風疹
- 水痘
- 咽頭結膜熱
- 百日咳
- 結核

## 〈第三種伝染病〉

- 腸管出血大腸菌感染症
- 流行性角結膜炎
- 急性出血性結膜炎

## 〈その他の伝染病〉

- 溶連菌感染症
- ウィルス性肝炎（A型）
- 手足口病
- 伝染性紅斑
- ヘルパンギーナ
- マイコプラズマ肺炎
- 流行性嘔吐下痢症
- 伝染性膿痂疹（とびひ）
- その他（ ）

## 〈登園後の注意事項〉

---

平成 年 月 日

医療機関名  
主治医氏名

印